

給食がより

【家庭数】



新年明けましておめでとうございます

冬休み中、暖房のきいた室内で過ごすことが多くなり、運動不足になってしまったり、夜ふかしをして生活のリズムがみだれてしまったりしていませんか？『早ね・早おき・朝ごはん』を合言葉に、規則正しい生活を心がけ、新年も元気に登校しましょう。

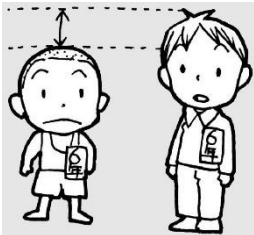


ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん

全国学校給食週間がはじまります

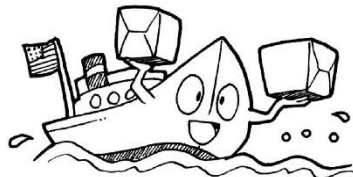


毎年1月24日～30日は「全国学校給食週間」です。戦争により中断していた学校給食が昭和21年12月24日に再開したことを記念して始めました。学校が冬休みなので、1カ月おくれの1月24日が記念日になりました。



そのころの小学6年生は、今の4年生くらいのからだの大きさでした。

昭和20年、今から70年くらい前、日本は戦争がおわったばかりで、食料が不足し、みんなおなかをすかしていました。



日本の子どもたちの様子をみて、アメリカから脱脂粉乳などがたくさん送られてきて、給食を始めることになりました。



こんげつ きょうどりょうり ぐんまけん
 ~今月の郷土料理~ 群馬県

1/23 (火) の
 きゅうしょく どうじょう
 給食に登場するよ!

豆腐めし

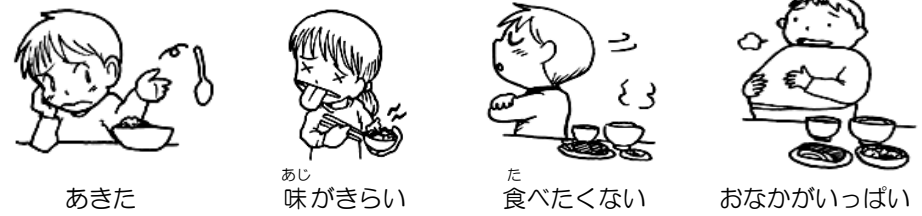
しょうゆで味付けした炒り豆腐を混ぜたごはんです。昔から群馬県の利根地区は、大豆の産地で木綿豆腐作りが盛んでした。「しょうゆめし」に消化のよい豆腐を炒めていれたところ、おいしかったのがはじまりといわれています。

わかさぎ

群馬県にある赤城山の風物詩といえは「わかさぎ釣り」です。赤城山が冷える12月～1月には、湖面が凍り、氷に穴をあけて釣りを楽しむことができます。

食べ物を大切にしよう!

食べている食事やおやつなどを、何気なく残していませんか？ほんの少し思っても、積み重なるとたくさんの量になります。



上のような理由から食べ物を残してよいのでしょうか？私たちは生きていくために、たくさんの動物や植物の命をもらっています。そのことを考えれば、ほんの少しでもむだにはできないはず。ひと口ひと口よく味わい、最後のひとつぶ、ひと切れまで大切に食べましょう。

感謝の気持ちを忘れずに、
 「いただきます」や
 「ごちそうさま」の
 あいさつをしましょう。